

## マラウイ月報（2023年8月）

### 【内政】

#### 1. 「アフリカ国際仲裁センター発足」（7日付タイムズ紙）

ムバロ法務大臣は中国政府との協力によるアフリカ国際仲裁センター（Africa International Arbitration Centre（A I A C））の開設を発表。

### 【外交】

#### 1. 「チャクウェラ大統領、アンゴラからの石油の活用に興味を示す」（20日付ネイション紙）

チャクウェラ大統領は、ロウレンソ・アンゴラ大統領との二国間会談において、アンゴラとザンビアの間で合意されている石油パイプライン建設計画への参加に対する関心を示した。

#### 2. 「チャクウェラ大統領、BRICSにて債務再編を」（17日付ネイション紙）

チャクウェラ大統領は、第43回SADCサミットへ出席した後、BRICS首脳会合に参加するために南アフリカへ向かう。BRICS首脳会合の機会にインド政府と債務再編交渉を行う。

#### 3. 「中国、気候変動ショックへの対策支援を約束」（25日付タイムズ紙）

習近平国家主席は、チャクウェラ大統領との首脳会談において、マラウイの「一つの中国」政策への揺るぎない支持に感謝し、チャクウェラ大統領の中国への公式訪問を招待したいと述べた。

### 【経済】

#### 1. 「タバコ収入、過去最高を記録」（2日付タイムズ紙）

マラウイの主要輸出作物であるタバコによる収入は、5年ぶりに過去最高を更新し、2億8,130万米ドルを記録した。

#### 2. 「マラウイ、イースト・ブリッジ社との取引を中止」（2日付タイムズ紙）

マラウイは、国際通貨基金（IMF）に対し、ルーマニアのイースト・ブリッジ社との肥料調達契約を取り消すと表明した。

#### 3. 「マラウイ、モロッコとの貿易拡大を要請」（2日付ネイション紙）

テンボ外務大臣は、モロッコ政府がマラウイ政府との間に締結している、関税と割当量を免除する貿易協定を評価し、砂糖、紅茶、その他の商品の輸出を通じてモロッコとの貿易を拡大する意向であると述べた。

#### 4. 「英国、マラウイへの援助207%増」（4日付ネイション紙）

英国外務・英連邦・開発省が公表したデータによると、同国の対マラウイODAは来年度、207%増の5,100万英ポンドになる見込みである。

**5. 「440万人が飢餓の恐れ」(6日付サンデー・ネーション紙)**

2023-2024年の食糧不足の時期(lean season)に、全人口の約22%にあたる440万人が食糧不安に陥る可能性がある。

**6. 「マラウイ、米国コンパクトへの準備完了」(8日付タイムズ紙)**

米国ミレニアム挑戦公社(MCC)は、3億5,000万米ドルの第2次コンパクトに基づくプロジェクトの開始に必要な要件のほとんどをマラウイ政府が満たしたと発表した。

**7. 「金利スプレッド、51%増」(10日付ネーション紙)**

マラウイ中央銀行(RBM)によると、基準貸付利率と預金金利の差を表す金利スプレッドは1年間で50.87%跳ね上がった。

**8. 「マラウイ、来年AfCFTA主導貿易参加へ」(10日付タイムズ紙)**

マラウイは、来年1月までにアフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)主導の貿易イニシアチブに基づく物品貿易に参加する予定である。

**9. 「燃料危機、終わり見えず」(11日付ネーション紙)**

燃料業界の関係者は、外貨不足、サプライヤーへの支払いの遅れ、及び銀行からの信用状の発行停止等により燃料不足は続くだろうと述べた。

**10. 「タバコ供給量不足で1,260億クワチャの外貨損失」(16日付ネーション紙)**

マラウイのタバコ産業は、5,000万kgの供給不足に見舞われ、その結果、約1億1,500万米ドル(1,260億クワチャ)の潜在的な外貨収入を失った。

**11. 「ヘッドラインインフレ率、28.4%に上昇」(21日付タイムズ紙)**

7月のヘッドラインインフレ率は、過去最高を記録した食料インフレの影響で、前月の27.3%から28.4%に上昇した。

**12. 「綿花生産量・収益、激減」(24日付タイムズ紙)**

2023年の綿花生産量は昨年比べ48%減少し、収益は41%減少した。

**13. 「12万トンのメイズ不足」(26日付ウィークエンド・ネーション紙)**

国家食料備蓄機関(NFRA)は21万9,023トンのメイズ需要に対し、およそ10万トンを備蓄することを明らかにした。

**14. 「マラウイの債務負担」(30日付タイムズ紙)**

マラウイの公的債務は、GDPの75%に相当する7兆9,000億クワチャにまで増大した。